

## 観光の力で東北を元気にしよう！

### 新たな会員組織「TOHOKU Fan Club」を設立しました

持続可能な東北観光を実現するために、「観光の力で東北を元気に！」する活動を東北観光推進機構と一緒に応援してくれるファンの会員組織を新たに設立しました。

東北観光推進機構では、東北観光の目指す姿として「世界が訪れたくなる『東北（TOHOKU）』、住みたくなる『東北（TOHOKU）』」をビジョンに掲げ活動しています。

ウィズコロナ・ポストコロナ時代において旅行者の旅の嗜好や旅行形態が変化する中、「東北（TOHOKU）」が選ばれ続ける観光地となるべく、「東北（TOHOKU）」に親しみや愛着を持つファンを一人でも多く増やし、継続的にファンとのコミュニケーションを図っていくために、新たな会員組織を設立することとしました。

東北に訪れたことがある人も、訪れたことがない人も、東北に住んでいる人も、住んでいない人も、東北を元気にする活動を一緒に応援してくれるファンを募集します。

#### ●「TOHOKU Fan Club」とは

持続可能な東北観光を実現するための活動を一緒に応援してくれるファンの会員組織で、**会員登録は無料**です。

会員サービスとして、東北のおすすめ情報やお得な情報をメールや会員サイトでファンにいち早くお届けする他、ファンの方へアンケートのご案内をお届けします。アンケートに回答するとポイントが貯まり、ギフトカードに交換できるほか、東日本大震災の復興支援やSDGsの取り組みを支援する団体へ寄付することができます。



#### ● 設立日（サービス開始日）

2021年12月13日

#### ● 登録方法

TOHOKU Fan Clubの特設サイト（<https://tohokufanclub.com>）からお申し込みください。登録していただいたデータの管理、会員サイトの運営は、東北観光推進機構が業務を委託するSyno Japan（シノジャパン）株式会社が行います。

## 新規入会キャンペーン実施中！

### 是非、この機会に「TOHOKU Fan Club」へのご登録をお願いいたします！

TOHOKU Fan Club設立を記念して、新規入会キャンペーンを実施します。

#### （１）もれなく20ポイントプレゼント

新規会員登録をしていただき、初回アンケートに回答していただいたファン全員に20ポイント（1ポイント＝1円相当）をプレゼントします。

#### （２）さらに抽選で100名様にAmazonギフト券1,000円分プレゼント

2022年1月31日までに、新規会員登録をしていただき、初回アンケートに回答していただいたファンの中から抽選で100名様にAmazonギフト券1,000円分をプレゼントします。なお、Amazonギフト券1,000円分のプレゼントは日本国内在住の方に限定させていただきます。

当選者の発表は、会員登録していただいたメールアドレスへの通知をもって代えさせていただきます。

（特設サイトイメージ）



## インフルエンサーを招請して東北の魅力を発信しています

東北観光復興対策交付金を活用した事業により、在日の海外インフルエンサーを東北各地域に招請し、中国や台湾、欧米等に対して東北の観光情報を発信しました。そのいずれもが極めて高い評価をいただき、コロナ収束後に他地域に後れを取らぬよう、コロナ禍にあっても海外に対するプロモーションを引き続き展開してまいります。

### ●岩手コース：中国人インフルエンサー（10月21日～22日）

インスタ映えするフォトジェニックな温泉・郷土文化を中心に遠野市、花巻市を取材いただきました。全体として自然の中で日本的な風景を感じられる「映え」に反応された様子で、美しい岩手の景色を撮影していました。



【わんこそば体験】

### ●山形コース：イギリス人インフルエンサー（10月25日～26日）

庄内地方を中心に取材し、相馬楼の酒田舞娘の演舞の特徴や歴史に高い評価をいただきました。美しい田園風景も気に入っていただき、今後も東北観光に係る情報発信の期待できる招請となりました。



【酒田楼】

### ●福島コース：アメリカ人インフルエンサー（10月28日～29日）

会津地方を中心に訪問し、ここでしか体験できない沼尻エクストリーム温泉や大自然の紅葉など福島ならではの歴史と文化を紹介。東北に興味がある層に対してより詳しい情報と魅力を伝えることが出来ました。



【沼尻エクストリーム温泉】

### ●秋田コース：ニュージーランド人インフルエンサー（11月11日～12日）

男鹿地方を中心に訪問しました。外国語対応の充実した大龍寺へ高評価をいただいたり、なまはげ文化に対し理解が進んだとのことで、男鹿地方を大変気に入っていただけました。



【きりたんぼ作り体験】

### ●青森コース：台湾人インフルエンサー（11月17日～18日）

五所川原市や青森市を中心に隠れた名所へ訪問し、撮影した動画は字幕付きでYouTube中心に発信していきたいとの事で新たな観光スポットの発信に繋がる招請となりました。



【青森県立美術館】

### ●宮城コース：タイ人インフルエンサー（11月23日～24日）

タイ人にとっては「買い物・食べ物」の他に「花」も重要なポイントとの事で、みちのく湖畔のポテンシャルを高く評価いただきました。



【白石城】

## 在日韓国メディアを招請しました（11月5日～9日）

趣味やテーマ性の高い特別な目的にしばった旅行（SIT）をターゲットに、アウトドア+αを楽しんでもらえる「新たなSIT」をアピールすべく、在日韓国メディアを招請し、「アウトドア+文化・芸術」「アウトドア+ポップカルチャー」のコンテンツを中心に宮城・岩手・青森県を周り、東北の魅力を取材いただきました。

宮城県ではアニメ聖地めぐりの他、グランピングに関する施設や、ツール・ド・東北（石巻市街地）でのサイクリング、宮城オルレ（登米コース）などを周り、自然の情景を楽しめることに高い評価をいただきました。

韓国での観光では旅先でもトレイルを行うことが浸透しており、岩手県のみちのく潮風トレイルは景色が素晴らしく魅力的なコンテンツとのことでした。

また韓国では自然に癒しを求めて旅行する方が多く、青森県の奥入瀬渓流の散策は自然を満喫出来る場所で高い需要が期待できるのではとのことでした。弘前城では綺麗な紅葉とライトアップも楽しんでいただけました。

アクセスなどの課題はあるものの、東北のダイナミックな自然はまさに韓国人の求めている「癒し」であるとのコメントもいただき、今回の招請で訪問した場所を記事にさせていただくことによって訪東北の需要増が期待でき、有意義な招請となりました。



【アニメ聖地の取材】  
（カメイアリーナ仙台）



【宮城オルレ・登米コース】



## 在日欧米旅行会社を招請しました（11月9日～12日）

欧米市場における富裕層向けの商品を造成する旅行会社を招請し、東北固有の歴史・伝統文化、そして手つかずの自然景観という「本物の日本」を体験していただき、富裕層向け旅行商品造成及び誘客を図りました。

福島県の原子力災害で被災した地域の訪問や山形県での山伏修行体験などを行ったところ、東北は寺院などの歴史的なコンテンツよりも、大自然や震災の学び体験といったものにポテンシャルを感じられるとのことで、復興して立ち上がったポジティブなコンテンツとしてツアーの造成が出来るのではないかとのお話がありました。

全体を通して今回の訪問先は唯一無二で興味深いところが多く、福島の震災学習コンテンツを中心に、ツアーへの入れ込みを検討したいとのことでした。

震災は東北にとってマイナスなものではなく、世界に知られるべき有力なコンテンツであること、また東北は地元に根付いた文化や出羽三山のような信仰が残っている地であり今後の旅行トレンドである「サステナビリティ」の分野で充分魅力を発信していける地域であることが感じられる招請となりました。



【原子力災害学習】



【山伏修行体験】

## 在日タイ旅行会社を招請しました（11月15日～19日）

タイ市場の訪日リピーター層をターゲットとして、東北旅行商品の造成経験があるタイの旅行会社の日本支社の方々を招請しました。日本において新型コロナウイルスの感染者が少なく、「密を避けた自然体験と美食の旅」を楽しめるエリアとして東北を訴求し、往来再開後の早期旅行商品造成を促し、インバウンドの早期回復を図ることを目的に実施しました。

主に北東北においてタイ人に人気のある自然景観や観光体験、また往来再開の際に必要な現地の感染症対策などを視察し、東北の雄大な自然景観と日本らしさが残る景観の魅力や、各観光施設・宿泊施設の徹底した感染防止対策について評価をいただきました。

東北旅行商品の造成経験が豊富なため、既に訪れたことのある場所が多く、新しいスポットをもっと紹介して欲しいという意見もいただきました。また、今回新しく紹介した観光施設については、具体的な魅力の伝え方や、アクセス、団体の受入人数への対応等の課題もご指摘いただきました。今後は、各旅行商品形態における諸条件を想定した上で、新規コンテンツの提案につなげてまいります。



【ねぶたの家ワ・ラッセ】



【角館武家屋敷】

## 在日欧米メディアを招請しました（11月24日～25日）

欧米市場における富裕層向けの商品を造成旅行会社を招請し、東北固有の歴史・伝統文化、そして手つかずの自然景観という「本物の日本」を体験してもらい、富裕層向け旅行商品造成及び誘客を図ることを目的に実施しました。

日本在住のフランス人向けメディア（Kanpai）に、本年7月に世界遺産登録された北海道・北東北の縄文遺跡群を取材いただきました。今回の行程では、2日間で5つの縄文遺跡を視察しましたが、極めて高い興味関心を持たれ、熱心に取材いただきました。

フランス人は他国の歴史文化に興味関心が高く、今回の縄文遺跡についても刺さるコンテンツであるとお話をいただきました。最も良かったのは三内丸山遺跡で、その規模の大きさや出土品の種類の多さ、当時の様子を復元した建物等非常に見応えがあり、更に多言語対応もされていることで、極めて良いコンテンツであり是非紹介したいとお話もいただきました。今回の取材対象の縄文遺跡についてはいずれも高い評価であることが伺えたことから、今後のフランスメディアにおける情報発信が期待でき、大変効果のある招請となりました。



【伊勢堂縄文館】



【三内丸山遺跡】

## 在日香港メディアを招請しました（11月22日～26日）

日本在住の香港メディア・インフルエンサーを招請し、新潟県・福島県・山形県・宮城県の観光コンテンツを取材していただきました。

新潟県の燕三条 Bit や藤次郎オープンファクトリーなどの産業観光コンテンツに高い関心が寄せられ、北方文化博物館や創匠庵建物においては展示の魅力のみならず、東北の伝統工芸を自身で体験できることへの高い評価をいただきました。

宮城県の秋保ワイナリーやJRフルーツパーク仙台あらはまは、コンテンツとしての魅力はもちろん、震災復興への想いを持って誕生したというストーリーにも感銘を受けたとお話をいただきました。

東北には今回取材を行った山形県の山寺、福島県の会津若松、新潟県の燕三条、宮城県の蔵王キツネ村など、香港の方が東北訪問の目的となるようなコンテンツがたくさんあるとのコメントをいただき、全取材行程を通して大変熱心な取材となりました。

東観推では、寄せられたコメントを活かし、ターゲット層に訴求できるようなインパクトのある情報発信や、東北の認知度向上に繋げて参ります。



【観瀾亭での抹茶体験】



【藤次郎オープンファクトリー】

## SNSで東北の観光スポットやキャンペーン情報を紹介しています

### 「#東北PR局」冬のハッシュタグキャンペーンを展開中！

東観推のInstagram公式アカウント（tohokutourism\_jp）をフォローして東北のオススメ観光スポットやグルメなどの情報を「#東北PR局」をつけて投稿いただくと、抽選で東北6県の特産品が当たります。ぜひご投稿ください。

●応募期間は2021年12月1日～2022年2月28日まで。

●詳細はこちらをご覧ください

[https://dc.tohokukanko.jp/tohoku\\_pr/](https://dc.tohokukanko.jp/tohoku_pr/)

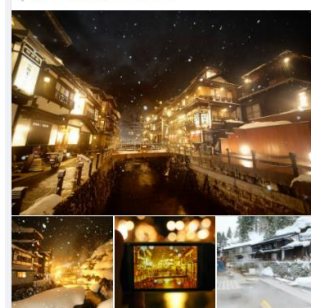
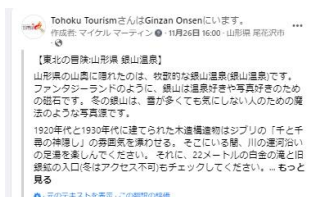


東観推では、コロナ禍における興味喚起とコロナ収束後の誘客に向け、SNSを活用し、日本国内および海外に対して、東北の観光情報等を発信しています。

東北・新潟の季節も秋から冬へと移り変わる11月は、伊豆沼と渡り鳥（宮城県）東山温泉原瀧川どこ・新宮熊野神社紅葉（福島県）、清津峡トンネル・ドラゴンドラ紅葉（新潟県）、雪の山寺・銀山温泉（山形県）、安比高原スキー場（岩手県）を紹介したほか、食欲の秋はまだまだ終わらないということで、大間のまぐろ（青森県）も発信しております。引き続き東北観光の魅力発信に取り組んでいきますので、是非フォロー等よろしくお願い致します！



|  |                                                                                                                                                                           |  |
|--|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  | <b>【Facebook（Tohoku Tourism）英語版】</b><br><a href="https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal">https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal</a> |  |
|  | <b>【Facebook（Tohoku for Muslims）ムスリム版】</b><br><a href="https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/">https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/</a>               |  |
|  | <b>【Facebook（旅東北 東北観光推進機構）日本語版】</b><br><a href="https://www.facebook.com/tohokukanko">https://www.facebook.com/tohokukanko</a>                                            |  |
|  | <b>【Instagram（tohokutourism）英語版】</b><br><a href="https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja">https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja</a>                       |  |
|  | <b>【Instagram（【公式】東北観光推進機構）日本語版】</b><br><a href="https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/">https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/</a>                             |  |





## 第13回東北歴史文化講座（オンライン）の公開を開始しました（11月5日）

東観推では、会員企業のJR東日本との共催により、東北各県の魅力・歴史・文化などの独自性のあるテーマを掘り下げて紹介する「東北歴史文化講座」を開催しています。コロナ禍の状況をふまえて、事前収録をした講座の模様をホームページにて視聴いただくオンライン講座として公開しています。

11月5日より日より新しく第13回講座が公開されましたので是非ご覧ください。

### <第13回/宮城・福島・山形>

- ・テーマ：明治日本が夢見た東北開発  
～東北の三大土木遺産が語る国家プロジェクト～
- ・講師：後藤 光亀 氏（東北土木遺産研究所 所長）
- ・概要：明治初期、内務卿・大久保利通が主導し、富国強兵・殖産興業の一環として交通網整備を基盤とする東北開発構想があった。  
「東北の三大土木遺産」に着目し、この国家プロジェクトを地形と土木技術、当時の社会背景からとらえ直す。

※詳細やお申込みは、ホームページをご覧ください。

<https://www.jreast.co.jp/tohokurekishi/>



## 第12回東北歴史文化講座 現地講座が開催されました（11月7日）

東北歴史文化講座では、現在オンラインで実施している講座の他に、講師と巡る現地講座を実施しております。11月は、第12回で取り上げた青森県の歴史に関する現地講座を開催しました。

### <現地講座概要>

- ・テーマ：縄文の「食」をめぐる冒険 ～遺跡から解き明かす奥深き縄文世界～
- ・会場：青森県青森市

東北域内外より19名様のお客様をお迎えして開催された現地講座では、講師の岡田康博氏（青森県世界文化遺産登録専門監）とともに、青森市にある環状列石で有名な小牧野遺跡と三内丸山遺跡の2か所を巡りました。当日は天気にも恵まれ、講師ならではの「縄文世界を深く知る・楽しむ」深い学びの案内をいただき、参加した方々からは「専門的な解説を聞くことができ、満足した。」等のご意見をいただくことができました。

今年の7月に世界文化遺産にも登録され賑わいをみせている「北東北の縄文遺跡群」に是非皆さまもお越しください。



## 第六期フェニックス塾 第4回塾を開催しました（11月12日）

今年度第4回目となる「フェニックス塾」を新潟県新潟市のコープシティ花園ガレージホールにて開催し、31名の塾生が参加しました。

### 【第一部】 セミナー

テーマ：「ユーザー発信情報の活用を踏まえたデジタルマーケティング」

講師：株式会社グッドイートカンパニー 取締役・最高戦略責任者

日本政府観光局（JNTO）デジタル戦略アドバイザー 牧野 友衛様

### 【第二部】 ワークショップ

第一部セミナーでは牧野様よりデジタルマーケティングやインターネット上の情報を活用することの重要性などについてお話いただきました。

第二部のワークショップでは「ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、東北（TOHOKU）が国内外から選ばれる観光地になるには」をテーマに、デジタル手法の活用をふまえ各グループの現状把握、課題を洗い出すため、ディスカッションを行いました。



【牧野様のセミナー】



【ワークショップの様子】

## 会員企業・団体の皆様と連携した情報発信（東北・新潟共同メッセージ）

会員企業のANAでは、「日本をあかるく元気に！」をコンセプトとして、安心・安全とご旅行の両立、および日本経済の早期活性化に向けた取組みを実施し、賛同する自治体からの歓迎メッセージやおススメ情報をサイトに掲載されています。その中で、東北・新潟についても、東北・新潟各県や仙台市、新潟市、東観推による「東北・新潟共同メッセージ」や、おすすめの旬の魅力を発信する「巡るたび、出会う旅。東北」、新しい旅行スタイル「Base!TOHOKU」も掲載いただき、広域での誘客にご協力をいただいています。

[https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/promotions/travel\\_japan/](https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/promotions/travel_japan/)

東観推は、今後も会員企業・団体の皆様と連携した情報発信を進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

## 紺野専務理事が講義と講演を行いました（11月15日、17日）

### ●岩手大学いわてグローバル人材育成講座での講義（11月15日）

「ポストコロナの東北観光のあり方について」と題し、観光事業に従事する方々に向けて講義を行いました。東北の新しい旅行スタイルの創出やデジタルマーケティングを通じて持続可能な東北観光を実現していくこと、世界に誇る多くの東北の魅力をオール東北でプロモーションし、地域のコンテンツを整備して交流人口の拡大につなげ、効果の最大化を目指すことについて話しました。

### ●会津若松商工会議所 観光・旅客運送部会での講演（11月24日）

「東北観光の活性化について～ポストコロナ時代を見据えた観光地域づくり～」と題し、講演を行いました。これまでの会津地方の主な観光促進に触れ、会津は魅力的な観光素材が豊富な『壮大なテーマパーク』であり、東北DCの取組をレガシーとして活かし、広域での効果的なプロモーションとマーケット視点での地域の観光コンテンツ磨き上げを掛け合わせて、観光の効果の最大化を図ることについて話しました。



## 第18回理事会を開催しました（11月17日）

第18回理事会を開催し、新規入会会員の件、2021年度補正予算の件について審議を行い、異議なく承認されました。その結果、東観推の会員数は257団体となりました。また、2021年度上期事業報告、2021年度下期事業計画、2022年度事業方針（案）についての報告のほか、観光に関する全国的な情勢及び旅行マーケットや修学旅行の状況等について意見交換を行いました。

## 東北観光推進機構の人事異動のお知らせ

東北観光推進機構推進本部において人事異動がございましたのでお知らせいたします。

### ＜転出＞

・11月30日付 推進本部 本部長代理 奥村聡子（JR東日本へ帰任）



## フェニックスアワード2021募集中！ご応募お待ちしております

「フェニックスアワード」は、東北・新潟に関わる観光振興を通じた地域の活性化に尽力貢献し、その功績が顕著であった団体・個人に対して表彰を行い、東北・新潟の観光と地域の発展に寄与することを目的としております。皆さまの優れた取組を紹介し、情報共有することで、東北の観光のレベルアップを一緒に進めてまいります。

●応募締め切り：1月31日（月）※詳細はこちらから <https://www.tohokukanko.jp/business/index.html>

「旅東北NEWS」VOL.039 2021年12月14日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いいたします！